

ネイチャー・ウォーク

平成 30 年 2 月
2018. 2. 25 発行
(通巻第 290 号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■先月のネイチャー・ウォーク

ぐるっと川沿い川越散歩

(JR・東武線 川越駅～菓子屋横丁)



雪の残る川越駅に集合

今回のネイチャー・ウォークは、一週間前の大雪もとけきらず、寒い日曜日でしたが、川越駅には 38 名の参加者が集合。スタッフとしてこんなうれしいことはありません。用意したパンフレット (40 部) がもう少しでなくなってしまうところでした。



さっそく出発



残雪はすべて凍っていて
おっかなびっくり歩きます

この日は、昨年度 1 年間だけみなさんと一緒に歩いた元事務局スタッフ H がリーダーを務める予定でした (今回は彼が提案したコース) が、なんと、インフルエンザでダウン。11 月に続き、手薄なスタッフ体制での運営となりました…

雪かきされているところはいいのですが、路上に残った雪はすべて凍っておりアイスバーン。転んでは大変と、みなさんの足取りもゆっくりです。今回はそのような状況ということもあって、大幅にコースを短縮しました。そのために川越市内をぐるっと囲むように新河岸川を歩くという看板は“不当表示”となってしまいました。でもしかたないですよ。でも、少しは川沿いを歩こうと、がんばって新河岸川のほとりまで進みました。



埼玉県風景とは思えません



カワセミ発見でみんな興奮。いつもの光景が見られました



昼食予定場所はごらんのとおり



1名の方に認定証授与です

新河岸川はカモがいるところといないところがハッキリわかれていました。これなぜかわかりますか？カモが泳いでいる所は、下水処理場からの温排水が流れ出している所の周辺に限られていました。やっぱり少しでも暖かいところの方がいいですもんね。新河岸川に別れを告げ、わらべうた「通りゃんせ」発祥の地である三芳野（みよしの）神社に到着。ここでお昼の予定でしたが、見ての通りの雪景色。みなさん、座れる場所を見つけて散りぢりにわかれての昼食となりました。今回は1名の方に認定証授与。スタッフ不足で景品は後日（最近こういうの多いなあ…）



富士山はどこかな

川越は小江戸で有名であると同時に、城下町でもあったのですが、意外と川越城の遺構は残っていません。そんな中、お城があったことをしのぶのが、「富士見櫓（やぐら）」。ここが天守閣にかわり、敵からの攻撃や侵入を見張っていたのだそうです。「富士見」ではありますが、富士山はマンションの向こうでした。



川越のパワースポットに到着

次に訪れたのが川越のパワースポット 広濟寺。ここには「あごなし地蔵」（顎がないので歯もない。だから虫歯にならないということで虫歯予防、歯痛の鎮痛の御利益あり）と「咳（しわぶき）ばばあ」（この石仏を縄で縛ると咳や呼吸器の病気が治るというパワーあり）が鎮座します。昔の人の健康への願いが込められていますね。



最後にもう一度新河岸川に出て、陽当たりのいいところで鳥合わせ。寒空の下でしたが意外とたくさんの鳥を見ることができました。豆バードウォッチャーからの報告もありました。

そのあともう少し歩いて菓子屋横丁で解散。みんなあっという間に人ごみの中に消えて行きました。

まだまだ寒い日が続きますが、体に気を付けて次回以降も元気に歩きましょう！